



## 【オリエンテーションと干潟調査】

令和4年5月1日（日）8：30 - 12：40

場 所：南三陸町自然環境活用センター  
折立海岸

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会  
南三陸町自然環境活用センター  
志津川高校自然科学部

### 「いよいよ活動開始!？」

・今年も調査隊の活動がいよいよ始まりました。今年度の新メンバーは17名と例年より多くの隊員たちが集まりました。昨年度から継続の隊員のほかに、新しい隊員が6名入ってきてくれました。

1回目の活動は14名の隊員が参加し、オリエンテーションと干潟調査を行いました。この日は、雨が降りそうな天気だったので、最初に自己紹介をし、干潟調査のレクチャーをタクゾー博士から受け、例年より早めに折立海岸の干潟調査に向かいました。



### 「折立海岸はどんな場所??」

・折立海岸は、ネイチャーセンターの目前に広がる海岸で、折立川の河口付近に位置しています。2015年の復旧工事で今の状態の人工干潟になって以降、約30種の生きものが毎年見つかっています。



### 「どんな調査をしたの?」

・干潟で生きものを見つける「3つのワザ」：①しゃがんで目線を近づける ②石の下や隙間をのぞく ③スコップを使って砂の中の生きものを掘り返す を使って折立海岸の生きもの（種類）をできるだけ多く見つける調査を行いました。

今回の調査では、くもってはいましたが、昨年度と同じくらいのいろいろな生きものが見つかりました。





「志津川高校自然科学部のみなさんにも、手伝ってもらいながら一生懸命生きものを探したよ!!」



「これから、どんな活動がしたいのかな？」

・干潟調査からもどったあと、種同定をする前にオリエンテーションの続きをしました。今年度、みんなにどんな活動をしてみたいか、昨年度の活動紹介の動画を見て参考にしてもらい、みんなに発表してもらいました。栗拾いや、陸の生きもの調査、ホエールウォッチングなどいろいろな意見が出ました。中でも、多かったのは、釣りと化石採りでした。みんなのやりたい事ができるだけやれるように、考えていきたいと思えます。



「どんな生きものがいたの？」

・今回見つかった種類は、ヒメケハダヒザラガイ、クモリアオガイ、**イシダタミ**、タマキビ、アオモリムシロ、ヒメイガイ、**マガキ**、**アサリ**、スナイソゴカイ、ヒャクメニッポンフサゴカイ、シロスジフジツボ、ユビナガホンヤドカリ、イソガニ、ケフサイソガニ、タカノケフサイソガニなど、合計で41種でした！

・このうち、マガキ、イシダタミ、アサリは、14人中10人以上が見つけた『優占種（ゆうせんしゅ）～折立海岸に多く住んでいる種～』（発見率が70%以上の種）になります。

・他には、サビシラトリ、ツブカワザンショウ、バルスアナジャコも見つかりました。これらは、絶滅のおそれがある生きものをまとめたリスト（レッドリスト）にのっている種です。



【今後の予定】

- ・6月25日（土）午後：大崎での田んぼの生きもの調査  
大崎市に行って、おおさき生きものクラブのみなさんと田んぼの生きもの調査をします。  
是非、ご参加ください。  
※詳細は後日お知らせします。